

## 『契約の子』(使徒の働き 3章 21-26節) 2023.6.18.

<はじめに> 親との血縁関係は不変ですが、親との関わりは幼い時、青年期、成人してからでは変わるものです。今日は父の日、私たちと親との関係が探られ、確認・更新するときでもあります。疎遠にするも親密にするも、両者の取り組み次第です。それは神と私たちとの関係も同じです。

### I 父祖と子孫

#### ① 預言者と契約(25)

ユダヤ人の歴史には、神の御旨と約束を告げる預言者が神から折々に遣わされました。また、聖書の神は気まぐれではなく、人と契約を交わし、それを忠実に履行される方です。ユダヤ人の子孫はその契約と預言を代々受け継ぎ、その祝福に与ろうとして来ました。

#### ② アブラハムへの契約(25)

神がアブラハムと交わされた契約は、彼の子孫であるユダヤ人を通して、地上のすべての民族に祝福を及ぼせるとの偉大な計画です。それ故、ユダヤ人は血統・家系を重んじ、この契約と預言の継承者であることを大切にします。

#### ③ 受け継ぐ者の姿勢

継承において大切なのは、血筋・立場よりもその人自身のあり方です。受け継ぐ側が、その事柄の真意を捉えて、自覚して選び取り、日々それを深め更新しているでしょうか。私たちはユダヤ人ではありませんが、信仰の父アブラハムに倣う者になれるのです。

### II 祝福にあずからせる(26)

#### ① 祝福のイメージ

神は祝福すると約束されます。祝福とは具体的にどんなものでしょうか。ユダヤ人はアブラハム契約から、どんなことを「祝福」と期待したでしょう。私たちは「祝福」に何を思い描いていますか。それが神が与えようとしている「祝福」と合致しているならば幸いです。

#### ② 神が用意された祝福(26)

ペテロはアブラハム契約の「あなたの子孫」こそ、「そのしもべ」であるイエス(20)であると示します。神はイエスを遣わし、その十字架と復活によって、悪から立ち返らせて、神の家族の一員とされる道、地のすべての民族に開かれました(ヨハネ 1:12)。

#### ③ 祝福に与る者へ(26)

契約は双方が同意して履行しなければ発効しません。人に先んじて「神はまず」動かれました。人がどう応じるかに成否はかかっています。それは「一人ひとり」の応答次第です。神を父と仰ぎ、神の契約を自分のものとして信じ受け取ることです。

<おわりに> アブラハムとの契約は、イエス・キリストによって更新され、具体化されました。この後の主の聖餐は、「わたしの血による新しい契約」(ルカ 22:20)として交わされるものです。パンと杯を一人ひとりが信仰をもって受け取るとき、復活による罪の赦しと永遠のいのちにあずかれます。この祝福をあなたは受け取りますか。(H.M.)